

第7回 教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月25日(木) 午前9時53分
- 2 開催場所 大町市役所 東中会議室
- 3 出席委員 教 育 長 中 村 一 郎
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆
委 員 下 川 清 志
委 員 森 し の ぶ
委 員 北 澤 明 美
- 4 説明のため出席した者
教 育 次 長 太 田 三 博
学 校 教 育 課 長 飯 島 秀 美
生 涯 学 習 課 長 藤 卷 孝 之
兼山岳博物館館長
ス ポ ー ツ 課 長 牛 越 秀 仁
兼国民スポーツ大会準備室長
学 校 教 育 指 導 主 事 吉 澤 清
学 校 教 育 指 導 主 事 山 岸 澄 雄
学 校 教 育 課 学 校 再 編 係 渡 邊 哲 也
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 平 林 晃
- 6 傍聴者 一 名

中村教育長：本日、出席を予定している方は全員おそろいですので、予定した時間よりは少し早いですが、これより第7回教育委員会を開催いたします。

では最初に、会議録の承認ということで、回しておりますので、確認とご署名をお願いいたします。

それでは最初に教育長報告ということでお願いします。

中村教育長：教育長報告 資料により説明

中村教育長：教育長報告に関し、何かご質問等ありましたらお願いします。

北澤教育委員：ALTのガラザ先生は、どこの学校を担当したのでしょうか。

中村教育長：北小と大町中を担当していただきました。

下川教委委員：大町中学校のスポーツ・文化活動運営協議会ですが、どういう目的で、どういうメンバーで、いつからやっているのでしょうか。

中村教育長：このスポーツ・文化活動運営協議会というのは、ずいぶん前からやっているもので、冬季間の部活動の練習を何とかもう少し行いたいということで、部活動とは違い、保護者主体で運営していこうということで、でき上がってきたものです。

下川教育委員：再編前はそれぞれに協議会があって、保護者の方や先生方も入り、ずっとやってきたものが、大町中になったので一体でやるということで、最近、部活動の地域クラブ移行が、1つの話題となっているということですか。

中村教育長：この協議会の途中から、部活動の地域移行というのが入ってきたので、そのことも視野に入れた形と、先生方の働き方改革も一緒になった形で、保護者がその部分をみんな、カバーしていこうということ、了解し合い、その進め方をどうするかというところを確認し合うというように進めていました。

そこでやはり、一番課題と思っているのが、保護者会長などの役員をやっても、1年で変わって行ってしまい、それを引き継ぎというのは、とても難しい。

また、学校の方も担当の先生が変わってしまい、そこでまたうまくいなくなってしまう。

あと、一中と仁中の協議会自体の運営とか、いろいろなものの温度差がすごくあって、なかなかその足並みがそろわないということもあったということを思い出します。

下川教育委員：冬期間の部活動を保護者が支援する形ということは、今の地域移行の走りがあったということですね。

中村教育長：それでは報告事項の方に移りたいと思います。

飯島学校教育課長：学校における事件・事故等について 資料により説明

〔内容非公開〕

中村教育長：それでは議事の方に移りたいと思います。

議案第 20 号、令和 7 年度中学校使用教科書の採択について、説明をお願いします。

吉澤学校教育指導主事：議案第 20 号 令和 7 年度中学校使用教科書の採択について 資料により説明

中村教育長：説明が終わりました。何か質問、ご意見等ございますか。

〔意見なし 承認〕

中村教育長：ありがとうございます。

それでは、続きまして協議事項に入ります。

まず、小中学校在籍児童生徒の就学判断についてということで説明をお願いします。

吉澤学校教育指導主事：小中学校在籍児童生徒の就学判断について 資料により説明

〔個人情報のため内容非公開〕

中村教育長：では次に教育大綱の策定についてということで、よろしくお願ひいたします。

太田教育次長：教育大綱の策定について 資料により説明

中村教育長：では、説明が終わりましたが、いかがでしょうか。

中山教育長職務代理者：資料を拝見すると、中信 3 市をみても三者三様だなと感じます。一見したところ、塩尻市の教育大綱がじっくりくるのかなというのが感想です。

中村教育長：では続きまして、中学校部活動の地域クラブ移行に向けた取組みについて、説明をお願いします。

飯島学校教育課長：中学校部活動の地域クラブ移行に向けた取組みについて 資料により説明

中村教育長：皆さんからご意見ありましたら、お願いします。

森教育委員：学校部活動が完全に学校から切り離されるには、まだまだ時間がかかると思います。

種目ごとに多様な方法での移行となるのかなと思うのですが、既存の大町スポーツクラブや、スポーツ少年団の規模を拡大して、中学生と一緒に活動するというものもあるかと思いますが、その辺の見通しはどうなっているのでしょうか。

中村教育長：現時点では、まだゼロベースからのスタートかと思っています。

地域移行ありきだけで考えていくと、とても難しいことになるかと思っていますので、その辺のところからお互いに話しをして、やはり地域移行が必要だということにならないと、話しが進まないと考えています。

忘れてはいけないのが、やはりあくまでもこれは中学生が中心の話しであって、周りの様々な思惑だけで中学生が振り回されてはならないと思いますので、子供たちの将来のためにスポーツ、また文化芸術に、取り組んでいけるという環境を、地域と作っていくことが必要かと思っています。

森教育委員：勝利至上主義で、競技力を向上させたい子もいれば、ゆるく活動したいという子もいると思いますので、生徒たちのニーズに合わせて、また、美麻や八坂の子も参加できるような地域クラブをつくっていく必要があると思います。

中山教育長職務代理者：地域移行ありきでシステムだけ考えてもダメかなと思っています。

地方の課題として指導者不足の中、指導者をどうやって選んでくるかという部分がどうしても引っかかっています。

学校の授業が終わってから引き続きの部活となると、一般の人が午後4時半からの指導は、無理ではないかと思っています。

あまりにも過度になってしまった部活動をもっと適正な学校活動の範囲というものにしていくべきだと思う。

1から大町市としてはこういう形にという話しができればいいなと思っています。

北澤教育委員：経済的な問題など、親がいろいろ支援してくれる子供はいろいろ体験ができるのですが、そういう支援ができない家庭のお子さんは体験の格差ができてしまう。

やはり中学校義務教育の過程で、様々な体験ができるような環境というのが、必要なのではないかと思います。

中山教育長職務代理者：今、部活動が教員にとってかなり負担ということが言われていて、事実負担という部分もあるとは思いますが、若い先生が、部活を持たされることは、単なる負担でしかないというように思い込むことは、よくないことだと思う。

先生方が、親御さんや家庭の方や子供と触れ合ったりしていく中で、子供の家庭状況を知ったりとか、そういったことが、授業のためには必要なことのような気がしており、そういうことを取っ払って教育が成り立つみたいなお考えにならなきゃいいなということを感じる。

部活動は負担といえど負担ですが、そこで成長しながら、それをまた学習にフィードバックしてくということもあるので、先生方もしっかり話しをしていきたいと思っています。

中村教育長：大町市にとって一番に良い形にしていきたいと思っています。

では続きまして学校再編についてということで、説明をお願いします。

渡邊学校再編係長：学校再編について 資料により説明

中村教育長：説明が終わりましたが、何か、ご意見等ありましたら、お願いします。

森教育委員：2点ございますが、1点目は、スクールバスの運行について、バスの台数等の課題があると聞いていますが、1社のバス会社ですべてを担うことになるのかということと、2点目は、概算費用についてですが、小学校は下校時間が高学年と低学年で違いますが、それぞれで対応した場合の概算費用となっているのでしょうか。

渡邊学校再編係長：バス会社に関しましては、現在、北小及び大町中北ルートに関しましては北アルプス交通さんに、東のコースに関しましては、やまびこさんをお願いしておりますことから、北部小学校ルートに関しては、北アルプス交通に、南部小学校ルートに関してはやまびこさんにバスの台数等について打診をさせていただいたところでございます。

が、今後再編となった際にどのバス会社になるかは現時点では未定ではありますが、現時点で運行しているバス会社にお聞きした内容となっております。

もう1点の下校時間が変わった場合についてですが、現在は、大町中学校や小学校について、2便運行しているケースがございますので、そちらの部分での費用として出しているだけでございますが、それがさらに増えるといった場合は、この費用はさらに増える可能性はありますが、現在は、登校は1便、下校は2便出しておりますので、現行に即した内容での見積りとなっております。

森教育委員：ありがとうございました。

中村教育長：ほかに何かございますか。

中山教育長職務代理者：校歌について、お願いします。作曲者が2名いますが、一人が北部小、一人が南部小の校歌を作曲するということですか。

渡邊学校再編係長：1人の方に両校の作曲をという話もありましたが、やはり大変だというご意見がありまして、2人を挙げていただいた内容となっております。

そして本日夕方に行われる校歌検討有識者会議の中で、どちらの学校の校歌をどちらの方に作曲していただくかということ、決めていただくということになります。

中村教育長：他にご意見等ありますか。

下川教育委員：スクールバスについて、各ルートの上長の乗車時間はどのくらいになるのか、再編準備委員会で説明していただきたい。
それからバスの台数が多いので、特に南部小の乗降場所が非常に心配です。

渡邊学校再編係長：まず、バスの乗車時間ですが、大町北部小学校の東ルートにつきましては、既存のルートと全く変わらず、30分ぐらいとなっており、他の想定したルートにつきましても、インターネットで、時間を検索いたしますと、20分はかからないとなっておりますので、そこに乗車時間を加えましても、30分はかからないだろうということで見込んでいるところでございます。

ですので、自宅からバス停まで来る時間は、30分はかからないところにバス停を設置できたものと思っておりますので、トータルの通学時間は1時間は超えないものと現在考えているところでございます。

それからもう1つのバス停でございますが、大町北部小学校につきましては、校地内で、バスの乗降ができるということになっております。

あとはそのバスが複数台の集中しないような時刻表の作り方で対応できればと考えております。

それから南部小の方につきましては、大型バスの停車場所が、非常に厳しいということで、幾つか挙げて検討しているところでございますので、スクールバスの通学方法とあわせて、再編までには整理をしていきたいと考えております。

下川教育委員：ありがとうございます。

中村教育長：それでは最後になりますが、5番目の陸上競技場及びサッカー場管理棟建替事業の契約手続きについて、説明をお願いします。

牛越国民スポーツ大会準備室長：陸上競技場及びサッカー場管理棟建替事業の契約手続きについて 資料により説明

中村教育長：それでは連絡事項ということでお願いします。

平林学校教育庶務係長：当面する日程及び今後の教育委員会等の日程について 資料により説明

中村教育長：以上をもちまして、第7回教育委員会の方を閉じたいと思います。ありがとうございました。

《午前12時09分 終了》